

デジタル技術活用 東北選考会

東北医工など受賞

デジタル技術を活用した「クロステックイノベーション」の東北地区選考会で、



東北医工の大関社長＝11月29日、仙台市宮城野区のホテル仙台ガーデンパレス

脳卒中のリハビリ用ロボットを紹介した東北医工（盛岡市）が最優秀賞に選ばれた。優秀賞の企業とともに、来年1月18日に東京で開催されるグランプリファイナルに出場する。

七十七銀行など全国の地方銀行5行・グループが主催。応募46組のうち1、2次選考を通過した9組が、仙台市のホテルで11月29日にあった選考会のプレゼンテーションに臨んだ。発表者はサービス紹介7分と質

疑応答3分で自社のアイデアをアピールした。

東北医工は脳卒中で片手がまひしている人のためのロボットを紹介。患者が箱形の機械に両手を差し込み、健常な方の手のひらを開閉すると、連動して動かない方の手が機械の力で動かされる。大関一陽社長（60）は「自分の力で自分をリハビリするのが特長。ロボットなのでリハビリをサポートする人材の不足にも対応する」と説明した。

優秀賞は仙台市の教育関連企業オーナーで、高校生向けに幅広いテーマの記事をオンライン配信する「GATEWAY」のアイデアが選ばれた。優秀賞に準じるとして当日設けられた特別賞には、中高年の健康維持アプリを手がけるベスプラ（東京都）が選出された。